

●本書の特長と使い方

この教材は、文章を書くことが苦手な人でも「文章を書くことは楽しい。文章を書くのが得意になってうれしい。」と思ってもらえるようにと、心をこめて作られました。またこの教材からは、あなたの日常生活にまつわる、いろいろな問題も学ぶことができます。

なお、この教材は次のような構成になっています。

第一章

この章ではあなたが、「文を書くことは易しいし、楽しい」と感じられるように短い文を書くところからスタートしています。頭に浮かんだことを積極的に文にしていきたいと思います。

第二章

この章では、入試によく出題されるテーマについての話し合いが中心です。これらの意見をよく読んで要約したり、あなたなりに考えたりして、自分の考えを深めていきます。

また、自分の体験なども思い出し、まとめておきましょう。

第三章

作文・小論文の問題で高得点を取るひけつの一は、「正しい言葉つかいや文法のルールに従った日本語を書く」ことです。ここでは、そのための基礎知識を身に付けます。

●別冊パワードリルの使い方

このテキストには、パワードリルが付いています。これを利用して、本冊で学んだことの復習ができます。

もくじ

第一章 文作りに親しむ

1	なぞなぞ作り	2
2	まंगाの会話文作り	4
3	まंगाからの文作り(1)	6
4	まंगाからの文作り(2)	8
5	なり切り自己紹介	10
6	穴埋め作文	12
7	いろいろなスピーチ原稿	14
8	標語作り	16
9	長い文直し	18
10	文の並べ替え	20
第二章 作文の素材を集める		
1	言葉の乱れ	22
2	公共の場で守るべきマナー	24

3	未来の日本に残したいもの	26
---	--------------	----

4	勉強を通して身につくこと	28
---	--------------	----

5	良いスピーチ原稿の書き方	30
---	--------------	----

6	良いインタビューの仕方	32
---	-------------	----

7	ボランティア活動	34
---	----------	----

8	読書のすばらしさ	36
---	----------	----

9	あいさつの大切さ	38
---	----------	----

10	方言の良さ	40
----	-------	----

11	制服に対する賛否	42
----	----------	----

12	キャッチコピー選び	44
----	-----------	----

第三章 正しい文を書くための

基礎知識	46
------	----

●原稿用紙の使い方	56
-----------	----

3

まんがからの文作り(1)

学習の目標

まんがの内容を文で説明する。

学習日

月 日



① 次の()のア～ウの中に当てはまる言葉を書き、左のまんがを説明する文を作りましょう。

ア ()
イ ()
ウ ()

() () ()

- ① 私には、(ア)があります。
- ② それは、将来(イ)ことです。
- ③ そのために、私は(ウ)。



② 次の()のア～ウの中に当てはまる言葉を書き、左のまんがを説明する文を作りましょう。

ア ()
イ ()
ウ ()

() () ()

- ① 学校の帰り道、私は、おばあさんが(ア)のを見かけました。
- ② おばあさんに声をかけると、「娘の家を(イ)。」とのことでした。そして、その家は私の家の近くでした。
- ③ そこで私は、(ウ)、その家まで案内することにしました。



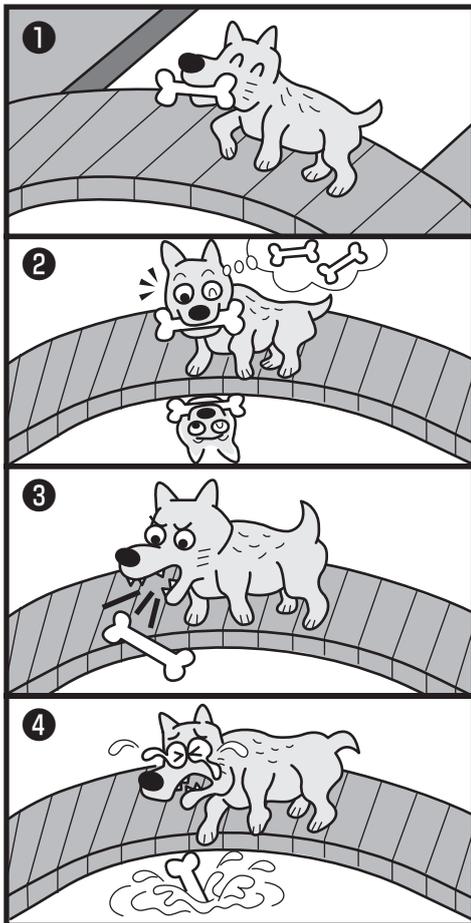
- ① タカシ君は、ひそかにミサちゃんに思いを寄せています。
あるときミサちゃんが、ノートを（ア）。どうやらそれは、ミサちゃん
んの足元に落ちていたようです。
- ② タカシ君はそれを拾って、（イ）。
- ③ するとミサちゃんから、笑顔でお礼を言われました。だから、タカシ
君は、（ウ）。

ウ () () ()

イ () () ()

ア () () ()

③ 次の（ ）のア～ウの中に当てはまる言葉を書き、左のまんがを説明する
文を作りましょう。



- ① 犬のポチが、（ア）橋を渡って（た）いました。
- ② ポチが川を見ると、犬の姿が映っていました。その犬も、（イ）。
- ③ それは、水面に映ったポチの姿でした。しかしポチは、別の犬がいる
のだと思い、「その骨をよこせ」と、（ウ）。
- ④ すると、（エ）。奪（うば）うはずだった骨もありません。とほほ。

エ () () ()

ウ () () ()

イ () () ()

ア () () ()

④ 次の（ ）のア～エの中に当てはまる言葉を書き、左のまんがを説明する
文を作りましょう。

1 言葉の乱れ

学習日

月

日

次の文章を読んで、後の質問に答えましょう。

▼ 学級活動の時間に、言葉の乱れについて話し合っているところです。

司会者

最近、「若者の言葉が乱れている」と言われます。みなさんは、言葉の乱れを感じることはありませんか。もしあるとしたら、どのようなことに対してそう感じますか。

Aさん

意味がわかりにくい言葉を多用することです。例えば、感想を言うときに、よく「やばい」と言う人がいます。「やばい」という言葉は、「かつこうがいい」とか「困った」とか、いろいろな意味に取ることができます。そのため、このような言葉を使うと、自分の意思が相手に伝わりにくいと思います。

B君

まちがった言葉の使い方をすることです。例えば、私は「食べられる」と言うべきところを、「食べれる」と言ってしまうことがあります。これでも意味は通じますが、できるだけ正しい言葉の使い方をするのが良いと思います。

Cさん

敬語を正しく使えないことです。例えば、「先生が申された」と言うと、先生に対して失礼になってしまいます。だから、敬語について勉強し、敬語を正しく使えるようにすることが大切だと思います。

D君

流行している言葉を、むやみやたらに使うことです。例えば、「超^{ちやう}」という言葉があります。人によっては、どんな言葉にも「超」をつけます。しかし、それでは豊かな表現ができないと思います。

1

言葉の乱れとして挙げられた意見を箇条書きにしましょう。

Aさん

意味がわかりにくい言葉を多用すること

B君

Cさん

D君

2

あなたは、言葉の乱れとはどのようなことだと思いますか。四人の中から、あなたの意見に近い人を二人選びましょう。

第二章では、他人の考えや意見があらかじめ薄い文字で示されている箇所があります。あなたの考えや意見を書く際の参考にして下さい。鉛筆で上からなぞり書きすることもできます。

3 次は、「言葉の乱れとは、どのようなことか」についてのAさんの考えです。

Aさんの考え

意味がわかりにくい言葉を多用すること

4 Aさんは、**3**のような考えになった体験などを思い返してみました。次は、そのメモです。

! **3**のような考えになった体験など

私は、友達と服を買いに行きました。

友達は、ある服を見て「この服、やばい」と言った。

私は、友達がどんな意味でその言葉を使ったのか、わからなかった。

私は、相手に正確に意味が伝わる言葉を使うようにしている。

5 それでは、Aさんの考えを参考にして、「言葉の乱れとは、どのようなことか」についてのあなたの考えを書きましょう。話し合いで挙げられた意見でも構いません。

あなたの考え

6 あなたが**5**のような考えになった体験などを書きましょう。

! **5**のような考えになった体験など

Four sets of vertical dashed lines for writing, each preceded by a bullet point.

ポイント

1

注意すべき仮名づかい

次のようなまちがいに注意しましょう。

- ・学校へ行く〔へ〕
- ・橋お渡る〔を〕
- ・おとおさん〔う〕

《練習》

(1) 次の各文には、仮名づかいのまちがいがありません。まちがっている部分に線を引いて、正しく直しましょう。

① 私は、図書館へ行く途中とちゆうで、山田先生お見かけました。

〔 〕

〔 〕

〔 〕

② でわみなさん、さようなら。車には気おつけて家へ帰りましょう。

〔 〕

〔 〕

〔 〕

(2) 次の言葉について、その読み仮名として正しい方を選びましょう。

- | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|------|-----|
| ① 昨日 | 〔ア〕 | きのう | 〔イ〕 | きのお | 〔 〕 |
| ② 氷 | 〔ア〕 | こおり | 〔イ〕 | こおり | 〔 〕 |
| ③ 多い | 〔ア〕 | おうい | 〔イ〕 | おおい | 〔 〕 |
| ④ 通る | 〔ア〕 | とうる | 〔イ〕 | とおる | 〔 〕 |
| ⑤ 王子 | 〔ア〕 | おうじ | 〔イ〕 | おおじ | 〔 〕 |
| ⑥ 応答 | 〔ア〕 | おおう | 〔イ〕 | おうとう | 〔 〕 |

ポイント

2

「ぢ」と「じ」／「づ」と「ず」の使い方

一般的に「ぢ・づ」は使わず、「じ・ず」を使います。しかし次のような言葉には、「ぢ・づ」を使います。

① 同じ音が続くことにより、二文字目がにごる言葉

《例》「ぢぢむ」「づづく」

② 二つの言葉がくっついてできた言葉

《例》「まちか（間＋近）」「こづつみ（小＋包み）」

《練習》

次の――部の仮名づかいが正しければ○を書き、まちがっていれば正しく直しましょう。

(1) 母は、家に財布を忘れてしまい、レジではづかしい思いをしたそうです。

〔 〕

〔 〕

(2) 兄は、寝る前の十分間、部屋をかたづける習慣をつづけています。

① 〔 〕

② 〔 〕

(3) 山を降りて、街にちかずいたところで、私の電話はつうじました。

① 〔 〕

② 〔 〕

(4) 私は、今月のこづかいが、いつもより少ないことにきずきました。

① 〔 〕

② 〔 〕

